

# 江戸時代の名古屋をさぐる

## 城・まち・ひと

平成27年 1月4日(日)～4月5日(日)

慶長15年(1610)の名古屋築城以来、名古屋の町は四百年以上の歴史を積み重ねてきました。長い歴史を持つ名古屋の町ですが、明治以降の都市計画や戦災復興を経て、現在の市街地から江戸時代の城下町の姿を探るのは難しくなっています。しかしながら、蓬左文庫などに残された絵図や記録は、当時の名古屋の姿を様々なかたちで伝えてくれます。この展示では、江戸時代の名古屋のすがたを、城下図や様々な記録からさぐります。

※本リストの番号は必ずしも展示の順序に即してはなりません。

※所蔵者が空欄は蓬左文庫を示しています。

※作品の保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。

### 第二章 名古屋城下の町と人

No.	名	称	時代	世紀(年号)	所蔵者
<b>第一章 城下町の誕生</b>					
1	尾府	名古屋図	江戸	18	前後
2	名古屋城	普請丁場割之図	江戸	19	後
3	蓬左遷府	記稿 加藤品房編	江戸	19	
4	乗合船		江戸	19	
5	町名	紀原	江戸	19	
6	正事記	卷二 全五冊のうち 津田房勝著	江戸	19世紀写	
7	小笠原長昌	覚書	江戸	19	
8	名古屋大火	図	大正	時代写	20世紀写
	原本:	江戸時代 17世紀			名古屋市鶴舞中央図書館蔵
9	尾張名所	図会 前編 卷之一 全7冊のうち	岡田啓等編	小田切春江等画	
			江戸	天保15年(1844)	
10	名古屋堀川	東伝馬町之図	江戸	17	
11	名古屋御城下	火消東西御仕法図	大正	20世紀写	
	原本:	江戸時代 18世紀			名古屋市鶴舞中央図書館蔵
12	諸役所	鷹之者法被雛形	江戸	19	前後
13	名古屋	図(三之丸)	江戸	19	後
14	金城温古	録 全66冊のうち 奥村徳義(得義)編	江戸	19	
15	坪間露頭	帳	江戸	宝暦3年(1753)	名古屋市博物館蔵
16	仮名分名	寄 全3冊	江戸	19	
17	士林浜	洄 全125冊のうち 松平君山等編	江戸	19世紀写	
18	稿本	藩士名寄 全140冊のうち	江戸～明治	19	
19	愛知県名古屋	区市街地籍全図 地巻 全3枚のうち	明治	19	愛知県公文書館蔵 前
20	愛知県名古屋	区市街地籍全図 天巻 全3枚のうち	明治	19	愛知県公文書館蔵 後
21	御城下	木戸境之図	江戸	19	
22	張州府志	附図 全26冊のうち 松平君山等編	江戸	18	
23	尾張名陽	図会 卷之一 全7冊のうち 高力種信編	明治	時代写	20名古屋市鶴舞中央図書館蔵
	原本:	江戸 19世紀成立			
24	尾張名所	図会 前編 卷之一 全7冊の内	岡田啓等編	小田切春江等画	
			江戸	天保15年(1844)	
25	開帳談話	高力種信著	江戸	文政12年(1829)	
26	画本開帳談話	高力種信著 小田切春江転写	江戸	文政12年(1829)	名古屋市博物館蔵
27	猿猴庵合集	五編 泉涌寺開帳・嵯峨開帳			
		高力種信著 小田切春江転写	江戸	19	名古屋市博物館蔵
28	建中寺御	構外割図	江戸	19	